

エネルギーの地産地消について

2026年7月

江戸川区環境部気候変動適応計画課



ともに、生きる。
江戸川区

気候変動の影響を真っ先に受ける可能性のある江戸川区

図出所：株式会社三菱総合研究所作成

江戸川区の 主な気候変動の影響

熱中症と水害リスク 気候変動×防災

熱中症の危険性が高まる

- ・ 気温の上昇により、熱中症の危険性が高まる。
- ・ 特に都市部では、風速の弱まり、人工排熱、地表面が蓄積・放射する熱により、気温が上がりやすい（＝ヒートアイランド現象）。

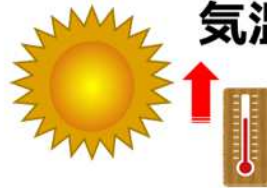
ビル等が密集することによる
風速の弱まり

空調機器、自動車、
工場等から排出される
人工排熱

コンクリート・アスファルト等の
地表面が蓄積・放射する熱

高温

気温が上昇すると・・・



激しい雨が発生しやすくなる

- ・ 気温の上昇で、空気に蓄えられる水蒸気量が増え、一度に降る雨の「量」が増加する。

台風が発達しやすくなる

- ・ 気温や海面水温の上昇で、海水由来の大気中の水蒸気量（＝台風のエネルギー源）が増え、より強力な台風が生まれやすくなる。

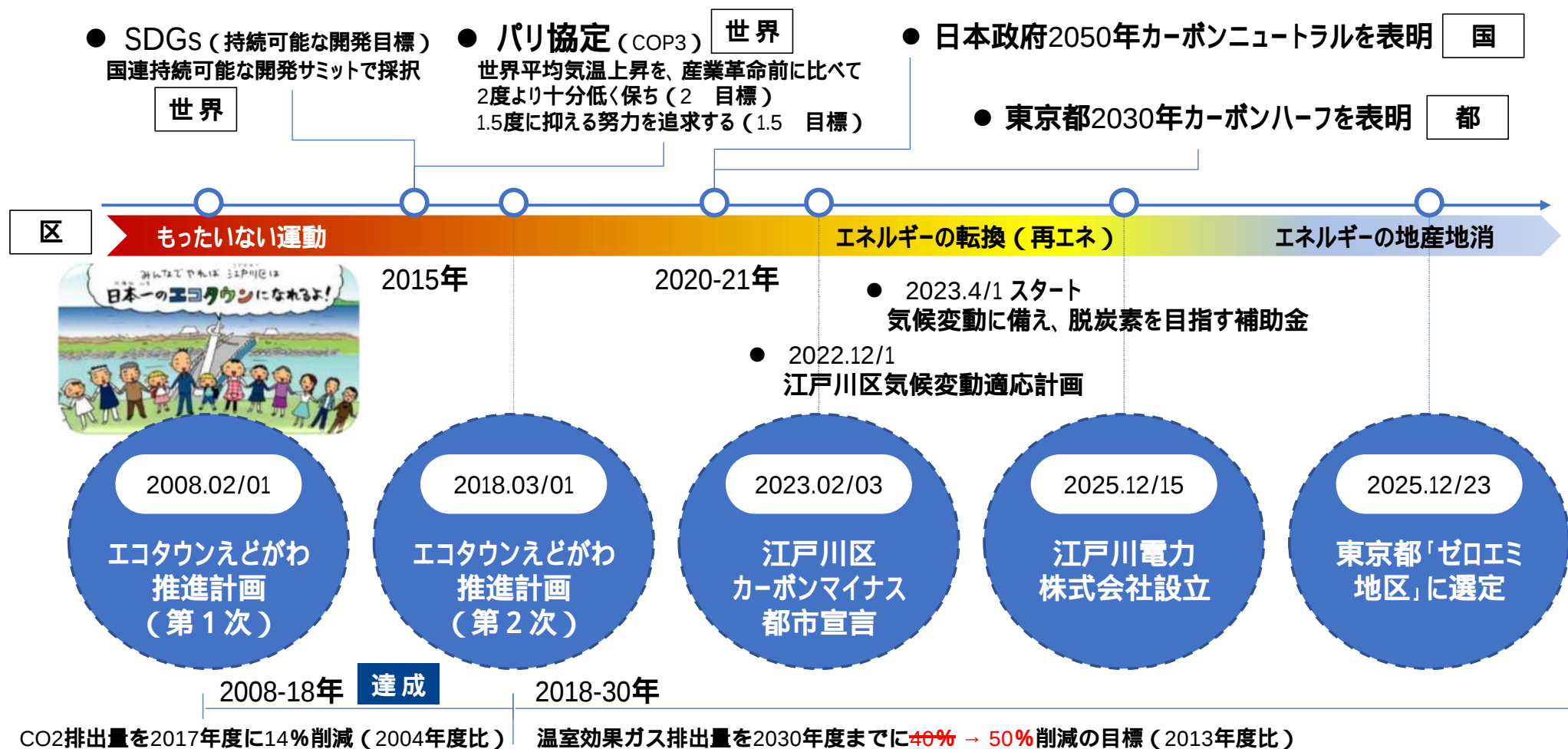


大きな高潮が発生しやすくなる

- ・ 台風等の低気圧の強力化や、海面水位上昇で、大きな高潮が発生しやすくなる。



エネルギーの地産地消に向けた江戸川区の歩み



エネルギーの地産地消とは

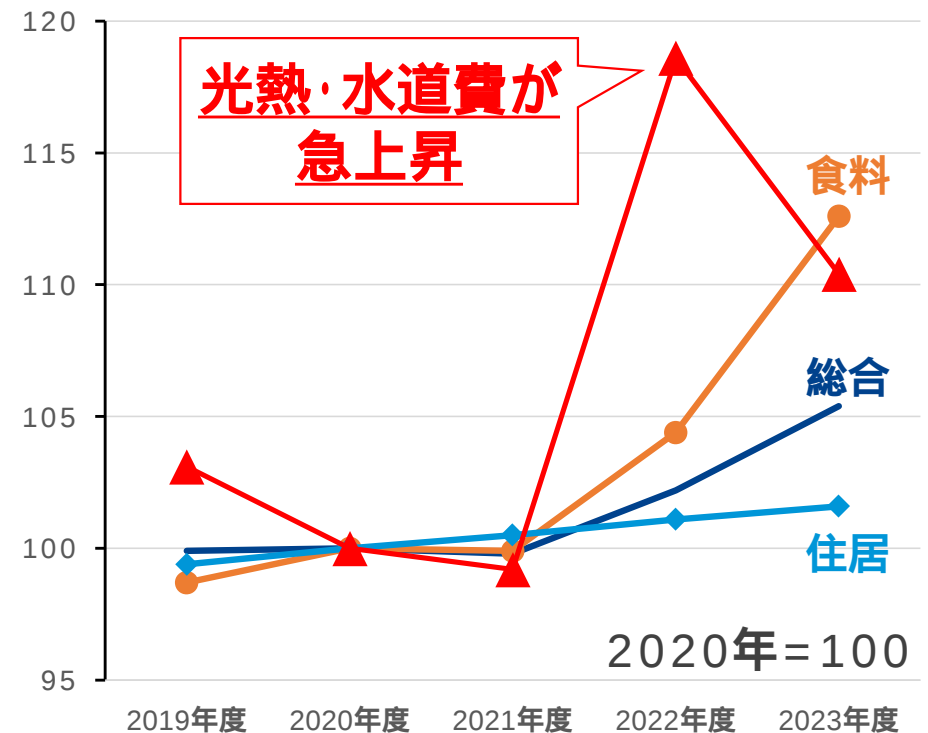
物価高騰で割高な東京の生活コスト → 近年では光熱水費も上昇

特別区と全国との家計消費支出の比較



総務省家計調査（2023年）を参照

消費者物価指数（23区）



総務省2020年基準消費者物価指数（2023年）を参照

江戸川区の現状 = エネルギー自給率が低く、区外にエネルギー代金が流出



「どこか遠くのエネルギーを買う」

電力など

電気代など

大手電力会社など

エネルギーの地産地消で解決

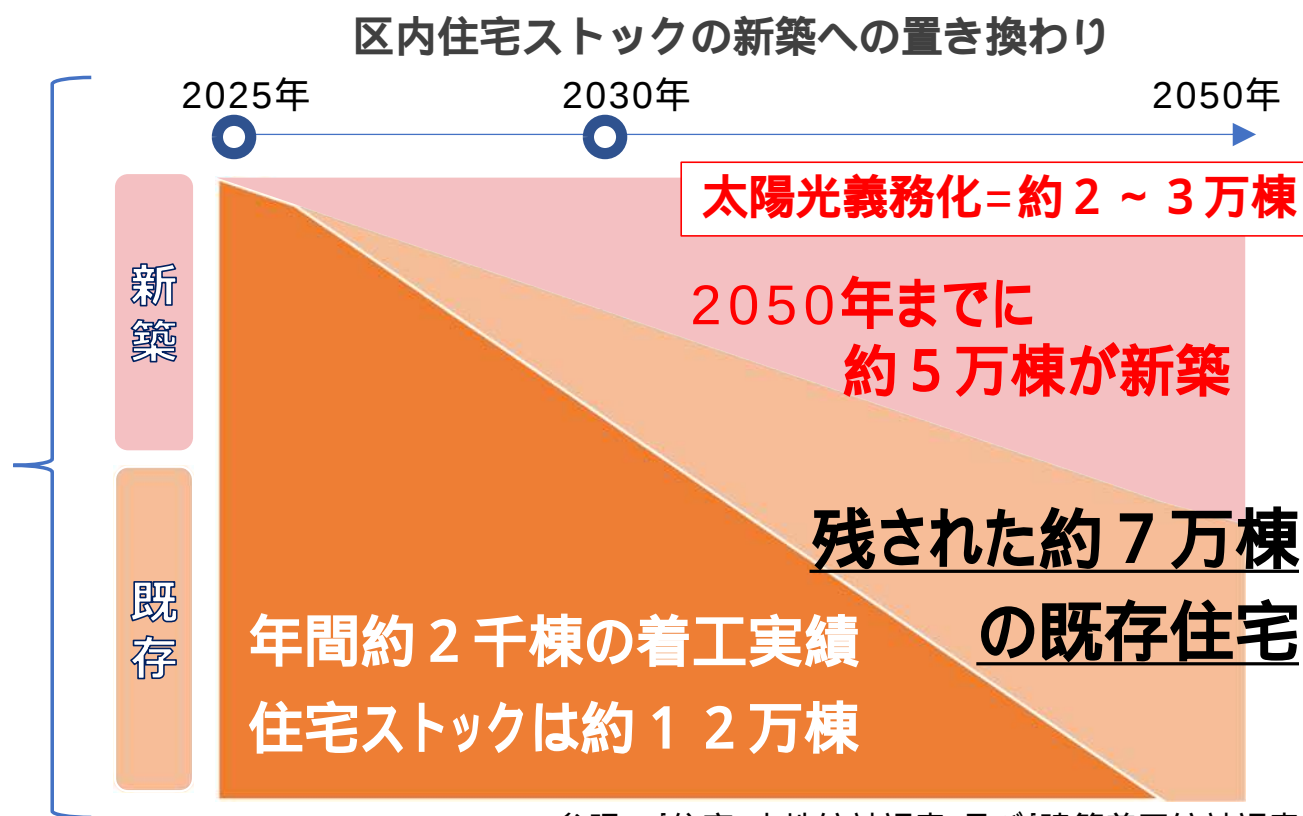
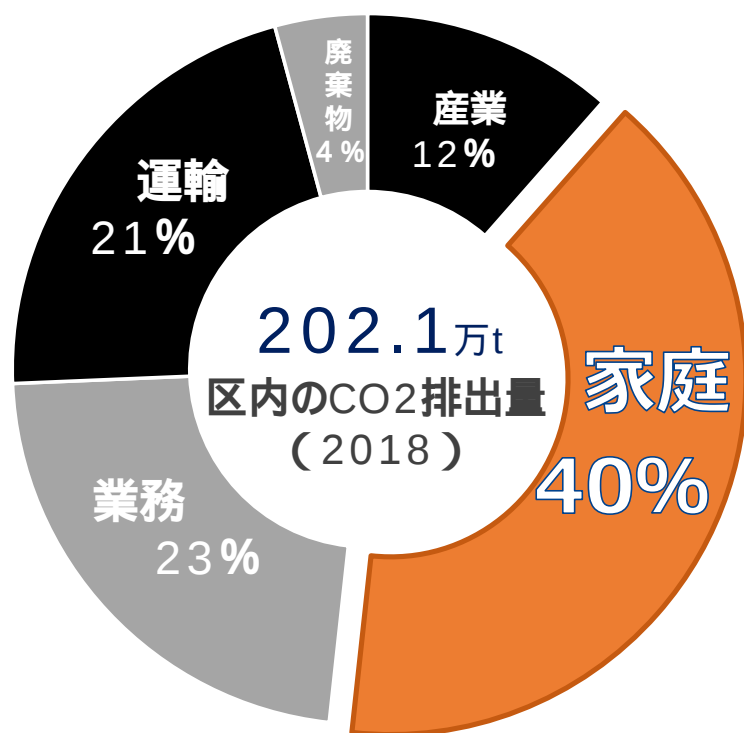
自給率を上げてエネルギー代金の流出を防ぐ

江戸川区のポテンシャルは‘住宅’にあり



「東京都ソーラー屋根台帳」(ポテンシャルマップ)：東京都環境局

家庭部門のCO2排出量が最も大きく、「住宅の再生」が脱炭素のカギ



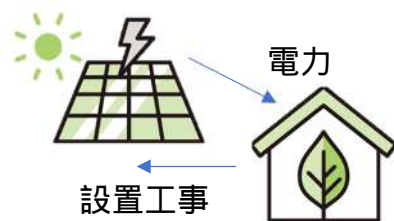
参照：「住宅・土地統計調査」及び「建築着工統計調査」
都内大手住宅メーカー約50社が対象の見込み、都内年間着工4.6万件のうち半数程度に相当（東京都）

▶ 2050年時点で住宅の半数以上は老朽化した既存住宅の恐れ

既存住宅の脱炭素を強力に進めるため、新たなモデルに転換

地球温暖化、物価高騰などの影響から区民生活を守る

現状（自己所有モデル）



初期費用が必要

◎ 電気代が**ほぼ**からない

地域経済循環に貢献しない
収入として個人の手元に残ったまま

地域エネルギー会社（PPAモデル）



◎ 初期費用が**不要**（ゼロ）

○ 電気代が**安**くなる

◎ 地域経済循環が**拡大**
地域に**利益を還元**

「（仮称）地域脱炭素」を巡って地域の皆さまとの歩み



2025.2/25

NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ
奈良 由貴氏



2026.3/30
【最終回】

2026.2/3

2025.7/28-11/5
・12/15・23

2025.7/5

2025.4/11-5/31

2024.12/17



リノベーション
コーディネーター協会
瀧澤佐江子 理事長

2024.8/18



千葉商科大学
田中信一郎 教授



2024.10/23

松江第一中学校体育館にて

2024.6/16

2024.6/2

2024.4/7

- 勉強会（第8回）「行列のできる!?脱炭素勉強会
～私たちの暮らしは変わるの?かわらないの?～」
- 勉強会（第7回）「再エネで安心な未来を」
- 事業パートナーのプロポーザル
江戸川電力の設立・東京都ゼロエミ地区に選定
- 勉強会（第6回）「地域エネルギー会社設立
に向けた車座意見交換会」
- 意見公募 「地域脱炭素の実現に向けた江戸川区の考え方
～地域エネルギー会社との連携方法について～」
- 勉強会（第5回）「『できない』から考える
江戸川区の新しいエネルギー」
- 勉強会（第4回）「病気になりにくいすまい
～おうちで取り組む脱炭素～」
- 勉強会（第3回）「江戸川区の考える
地域エネルギー事業とは」
- 勉強会（第2回）「くらしの悩みを地域で
解決する方法を探る」
- （仮称）地域脱炭素を実現するための勉強会
「城東電車と江戸川電気」
- 地域エネルギー会社設立に向けた説明会
- 勉強会の顔合わせ会



令和8年度

「脱炭素で暮らしの豊かさ実践事業」が始まります

目的

区民・事業者の皆さんとの自由なアイデアを対話によって地域脱炭素に向けた行動変容に繋げていく

脱炭素が「我慢」や「コスト」ではなく、

- ・区民の皆さんの生活の「豊か」に繋がること
- ・ビジネスを「成長」させる前向きなチャンスに結びつける

令和8年度 スケジュール（案）

6月	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
環境フェア セミナー	7月 区民向け WS	8月 事業者向け WS	10月 まちあるき イベント	12月 発展 勉強会	2月 大規模 イベント	3月 シェア会 まとめ

脱炭素勉強会の歩み

令和8年度

区民・事業者がともに創りだす
「はじめの一步」「つながり」づくり



令和7年度

地域エネルギー会社の立上げ
東京都ゼロエミッション地区創出プロジェクトの選出
に繋がる。



令和6年度

結果としての脱炭素という広い視野の気づきを
得ることができた。



実施報告

第1回 7月4日(土) 10:00～11:30

もし今〇〇がなくなったら？
物価高の今、交通・インフラから暮らしの豊かさを考えよう

電気 通信 交通 物流 その他

電気？ 通信？ 交通？ 物流？
あなたの暮らしに欠かせないものは何ですか？

東京から電気がなくなったら！？
なくなって気づく、一番困るものから脱炭素を
考えるワークショップを開催しました。



第2回勉強会 参加受付中

令和8年8月6日(木)

受付時間 13:45～ 開催時間 14:00～16:00

タワーホール船堀 3階産業振興センター

お申し込みは
QRコードから



東京23区初の地域エネルギー会社が誕生

東京23区初の地域エネルギー会社が江戸川区で誕生

商 号 江戸川電力株式会社

所 在 地 江戸川区西葛西7-20-10 5F

資 本 金 5,000万円

設 立 2025（令和7）年12月15日（月）

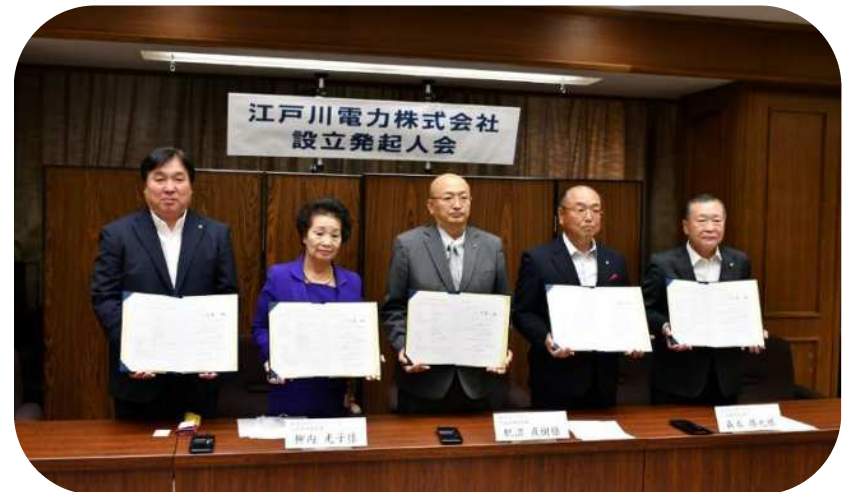
代 表 者 代表取締役 肥沼直樹

取締役会長 柳内光子

取締役 山地徹 森本勝也 蛭川仁美

監査役 黒津登喜郎

事業内容 主に住宅を対象としたP P A（第三者保有モデル）
による太陽光発電設備等の導入事業ほか

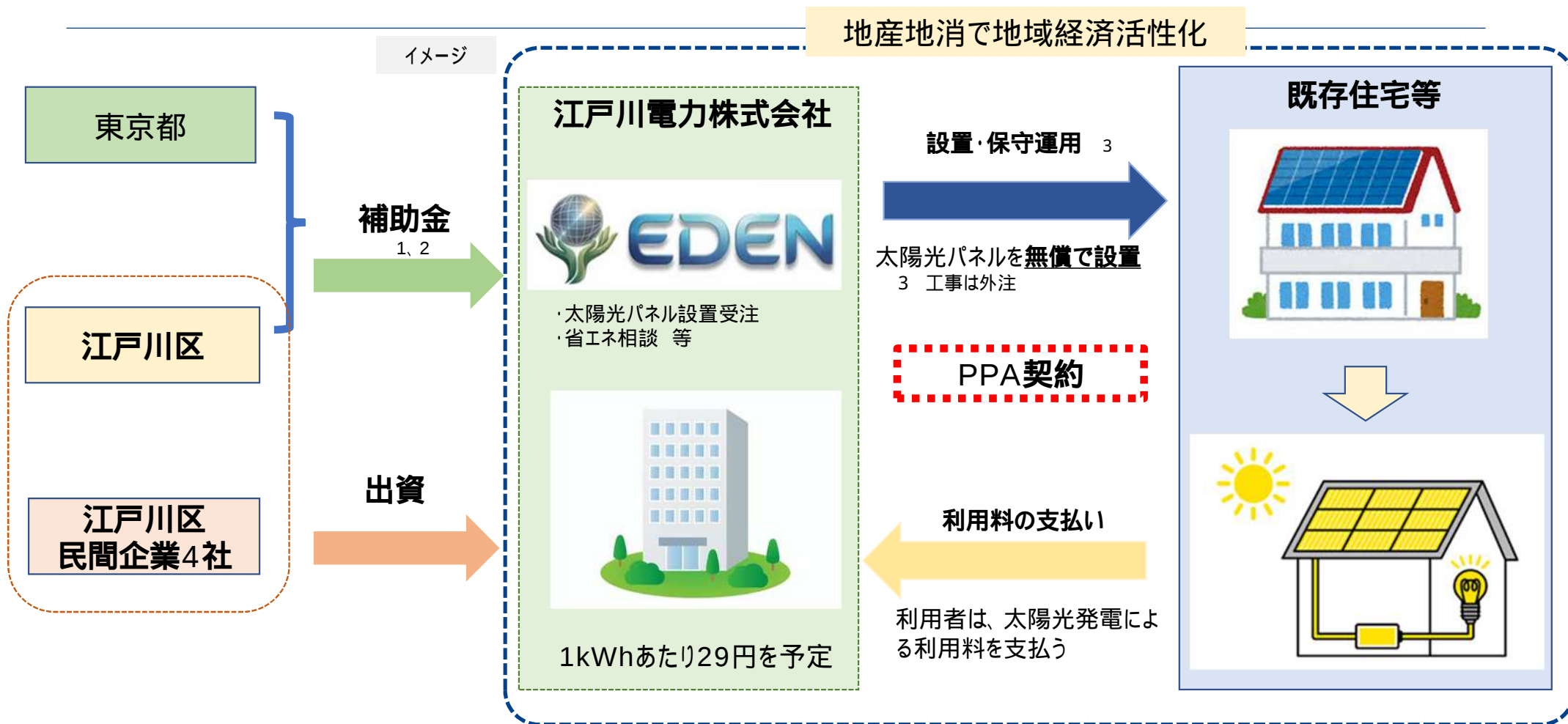


江戸川電力株式会社設立発起人会
（2025年12月8日江戸川区役所本庁舎にて）

株 主

名称	所在地	比率	企業概要
株式会社内山アドバンス	江戸川区東瑞江	40%	生コンクリートの製造・販売
株式会社EDF	江戸川区東小岩	30%	再エネ発電事業及び運営管理など
東亜物流株式会社	江戸川区一之江	15%	物流、廃棄物処理関係
小松川信用金庫	江戸川区平井	5%	区内に本店を置く唯一の信用金庫
江戸川区	江戸川区中央	10%	

事業開始後の想定スキーム



- 1 (都) 住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進の増強事業助成金・災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業助成金
- 2 (区) 地域エネルギー事業普及促進補助金

(参考) 江戸川電力株式会社 ホームページ



江戸川電力株式会社

江戸川電力とは

住宅用PPAの仕組みとメリット

導入の流れ

説明会・イベント

歴史とあゆみ・会社概要

電気の地産地消で、地域の未来を明るく

地域で作るこの電気が、 地域の今と未来を明るくする

私たちは「電気の地産地消」を目指す、江戸川区の地域エネルギー会社です。

ご自宅の屋根で作った電気を、安定した価格で地域の皆様にお届けします。

初期費用ゼロで太陽光発電を導入し、持続可能な暮らしを共に実現します。

まずは無料の区民説明会に参加する →

Webから個別相談・お問い合わせ

PPAの6つのメリット



初期費用0円

太陽光発電システム+施工費用すべて0円。お客様のご負担なしで太陽光パネルを設置します。



メンテナンス費用不要

維持管理の費用は一切かかりません。点検・修理はすべて江戸川電力が負担します。



電気代が安くなる

安定した価格で電気を提供します。市場価格の変動に左右されません。



CO2削減への貢献

再生可能エネルギーで環境に貢献。ご家庭から脱炭素社会を実現します。



停電時の電気使用が可能

災害時にも安心の電力確保。自立運転機能で必要最低限の電気を使えます。



地域への貢献

電気の地産地消で地域に貢献。江戸川区のゼロカーボンシティ実現を後押しします。

導入までの流れ



STEP 01
ご説明

地域説明会・訪問



STEP 02
現地調査

屋根の診断



STEP 03
審査・プラン提案・契約

最適なプランをご提案



STEP 04
施工

専門スタッフが設置



STEP 05
運用開始！

太陽光発電スタート

江戸川電力株式会社 | EDEN — 電気の地産地消で、地域の未来を明るく

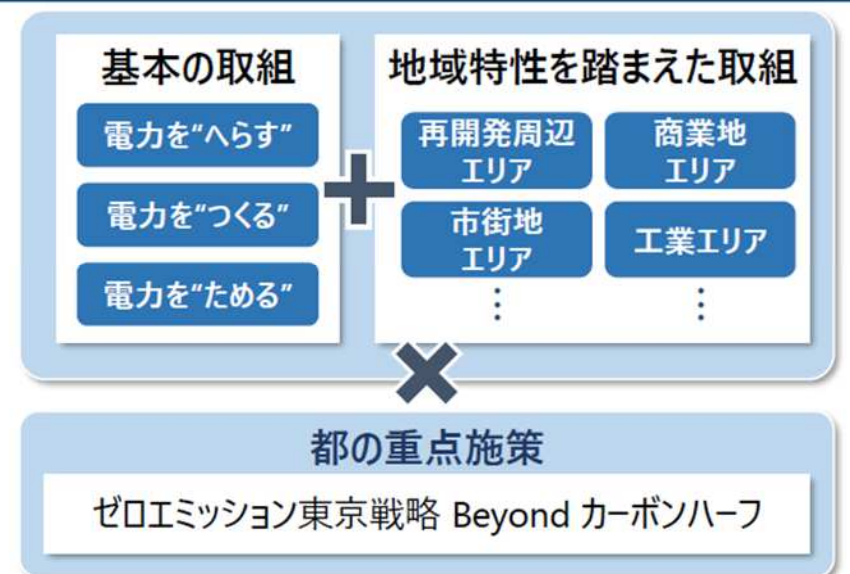
東京都内初の「東京都ゼロエミ地区」に選定

2025年12月、東京都内初の「東京都ゼロエミ地区」に選定

ゼロエミッション地区創出プロジェクトとは

- “ゼロエミッション東京”の実現のため、区市町村の地域特性を踏まえた取組と都の重点施策を一体的に展開していくことにより、都独自のゼロエミッション地区（ゼロエミ地区）を創出する

- 各種補助事業等を通じた「点」の対策だけでなく、地域の特性や課題を踏まえ、多様な主体が連携した面的取組を推進する
- 基本となる電力を「へらす・つくる・ためる」の取組を面的に展開するとともに、AIやスタートアップ等の先駆的な技術等も活用し、エネルギーの供給や需要を組み合わせて「上手に使う」ことで地域全体を効率的に脱炭素化する



2025～2030年	2030～2035年	2035～2050年
ゼロエミ地区 4地区創出	先行実施を踏まえた発展	効果的なプロジェクトを都内全域に横展開

江戸川区・千代田区の2自治体が選定

江戸川区ゼロエミッション地区

〔 東小松川3・4丁目・松江5丁目・船堀4丁目 〕

7つの取組みでGHG排出量を削減

2030年

50%

削減割合（2000年比）

2035年

約2.4万トン

削減量（積み上げ）

系統電力の排出係数の削減を見込んでいません

取組

事業者名	開業
東京電灯	1887
日本電灯	1913
帝国電灯	1913
江戸川電気	1913
鬼怒川水力電気	1912
桂川水力電気	1919

100年ぶりに復活
「江戸川電気」

脱炭素経営を
もっと身近に

取組



協力 不二製作所

取組

低圧電力
一括受電

集合住宅の
脱炭素化

取組



地産地消の電力で
家計にもやさしく

地域間連携で
共生型再エネを

取組



取組

コミュニティ蓄電池
導入検討



余剰電力を循環
レジリエンス強化

電気もガスもCO2フリー
コンベンション施設

取組



都内三大タワーの一つ
TH船堀

得られた知見を区内全域に展開



ともに、生きる。

江戸川区
EDOGAWA

気候変動を“自分ごと”に

ご清聴いただきありがとうございました